

環境やエネルギーの学習に活用してください！ ～東北電力株東通原子力発電所図書寄贈～



津幡所長(左)から目録を受け取る越善村長

10月26日(火)、東北電力株東通原子力発電所 津幡俊所長が役場庁舎を訪れ、小・中学生を対象とした環境やエネルギーに関する図書を含む教育関係図書193冊を東通村へ寄贈しました。

村長室で行われた寄贈式では、津幡所長から「東通村の子ども達のために活用してください」と越善靖夫村長に目録が手渡されました。

同社は、平成10年からこれまで23回・合計4399冊を寄贈しており(年2回)「原子力の日 10月26日」「電気記念日 3月25日」にちなみ寄贈、次世代を担う子供たちに関心やエネルギーについて関心を深めてもらうことを目的として、村内の各小学校や中学校に教育関係図書を寄贈して来しました。

寄贈は今回で24回を数え、寄贈していただいた図書数は4592冊に及び、子ども達のために活用されています。ありがとうございます。

原子力の日

1956年10月26日に、日本が国際連合の専門機関の一つである国際原子力機関へ参加したこと、また、1963年10月26日に、茨城県東海村の日本原子力研究所の動力試験炉が、日本で初めての原子力発電に成功したことから、1964年に「10月26日」を原子力の日とすることが、閣議決定し制定されました。

海の安全を守る灯台の監視協力に感謝！ ～第142周年灯台記念日表彰～

11月4日(木)、岩屋漁業協同組合(角本雄之組合長)、野牛漁業協同組合(三国優組合長)、竹村光雄さん(古野牛川)の長年の灯台灯火監視の協力に対し、海上保安庁より感謝状が贈られました。

11月1日は、1868年(明治元年)11月1日に、神奈川県横須賀市に、日本最初の洋式灯台である「観音埼灯台」が起工されたことにちなみ、海上保安庁により灯台記念日と制定されました。

この表彰は、灯台記念日に、海上保安庁が管理する灯台の「毎日の目視による灯火等の確認」や「異常発生時における通報」などの灯火監視協力に対して同庁より感謝状が贈られるもので、岩屋漁協に対し海上保安庁長官表彰が、野牛漁協に対し八戸海上保安部長表彰が、檜原義則八戸海上保安部長より贈られました。また、竹村光雄さんには灯火監視や巡回の際の用船協力に對

し、八戸海上保安部長表彰が贈られました。
今後も灯台の灯火監視による海の安全を守る活動をよろしく願います。



三国組合長(左)と竹村光雄さん(右)



表彰を受ける角本組合長(左)